

安全データシート

1. 製品等及び会社情報

製品名	ミネラルオイル
製品番号	2002-011、2002-012
会社名	株式会社 日本医化器械製作所 大阪市天王寺区玉造元町3番9号 八光ビル7階 電話:06-6765-0223 FAX番号:06-6765-0236
担当部署	大阪バイオセンター 電話:072-289-9381 FAX番号:072-289-9382
使用用途	試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS分類	誤えん有害性	区分 1
絵表示		



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H304-飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
注意書き	
安全対策	非該当
応急処置	飲み込んだ場合、すぐに医師に連絡してください。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物及び容器は関連法規及び各自自治体の条例等の規則に従い、適切に処分する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 単一の化学物質

化学名	含有量(%)	分子量	CAS番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
ミネラルオイル	100	N/A	8042-47-5	9-1692	-

不純物または安定化添加剤 非該当

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には医師に連絡すること。

眼に入った場合

数分間水で洗浄する。コンタクトは容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続け、直ちに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄する。直ちに医師に連絡する。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護

個人用保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水スプレー（水噴霧）、二酸化炭素、泡、粉末消火剤、砂

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない。

特有の危険有害情報

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を生じる恐れがある。

特有の消化方法

利用可能な情報はない。

消火活動を行う者の保護

個人用保護具を着用すること。自給式呼吸器及び消化装備を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用すること。屋内の場合、処理が終わるまで十分に喚起を行う。直ちに適切な距離を漏出区域として隔離する。飛沫などが皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おかくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収・中和

利用可能な情報はない。

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器に過度の衝撃を加える、転倒させる、落下させる、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。火気を避ける。

安全取扱注意事項

静電気放電を避ける為に必要な措置をとる。個人用保護具を着用し、皮膚、眼、衣類との接触を避ける

保管

安全な保管条件

保管条件

遮光して、2～8℃で保管する。

安全な容器包装材料

メーカーから供給された容器

混触禁止物質

火気を避ける。強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露限界

この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含むしていない。

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。

保護具

呼吸器用保護具	保護マスク
手の保護具	不浸透性の手袋
眼の保護具	保護メガネまたは安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生及び安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理及び化学的性質

物理状態	
色	無色
濁度	透明
性状	液体
臭い	データなし
融点/凝固点	融点/範囲：約-15℃ at 約1013hPa
沸点又は初留点及び沸騰範囲	218～800℃ at 約1013hPa
可燃性	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性（個体、ガス）	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	112℃
自然発火点	325～355℃ at 約1013hPa
分解温度	データなし
pH	データなし
粘度（粘性率）	25～80 mPa.s at 20℃
動粘性率	≤ 33.5 mm ² /s at 40℃
溶解度	水：ほとんど溶けない
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	0.82～0.88 g/cm ³
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	
反応性	データなし
化学的安定性	光により変質するおそれがある。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	経口LD50	>5000 mg/kg（ラット）
	経皮LD50	データなし
	吸入LD50	データなし
皮膚腐食性/刺激性		データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
他の有害影響	データなし

13. 廃棄上の注意

内容物及び容器は関連法規及び各自治体の条例等の規則に従い、適切に処理する。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)	規制されていない
IMDG(海上)	規制されていない
IATA(航空)	規制されていない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法	危険物第四類 第三石油類 危険等級Ⅲ
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法57条の2、施行令第18条の2 別表第9) No. 168
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当

16. その他の情報

免責事項

記載内容は本シート作成時に入手できた資料、情報、データ等に基づいておりますが、全ての情報を網羅しているわけではありません。したがって、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用下さい。また、本 SDS の記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関して保証するものではありません。